

再発性の単純疱疹（口唇ヘルペス又は性器ヘルペス）に対する短期間投与※ 処方チェックリスト

※ 通常、成人にはファミシクロビルとして1回1000mgを2回経口投与

記入日 年 月 日

患者氏名

処方前の確認事項

患者背景

- ☐ 単純疱疹（口唇ヘルペス又は性器ヘルペス）の同じ病型の再発を繰り返していることを臨床症状に基づき確認
- ☐ 妊娠・妊娠している可能性の有無、授乳の有無
- ☐ ファミシクロビルに対する過敏症の既往歴の有無

今回 の再発分に対する処方の場合

- ☐ 初期症状発現のタイミング（初回の服用は6時間以内）

次回 の再発分に対する処方の場合

- ☐ 再発頻度が年間概ね3回以上の患者
- ☐ 再発の初期症状（患部の違和感、灼熱感、そう痒等）を正確に判断し、自身の判断で服用可能な患者
- ☐ 再発頻度及び患者の腎機能の状態等を勘案し、服用時の適切な用法・用量が選択可能

<腎機能に応じた減量の目安>

- ☐ 通常：1回1000mg（4錠）を2回
- ☐ CLcr40～59mL/分：1回500mg（2錠）を2回
- ☐ CLcr20～39mL/分：1回500mg（2錠）を単回
- ☐ CLcr20mL/分未満：1回250mg（1錠）を単回

1回に処方する薬剤量

- ☐ 次回の再発分として処方する場合は、1回の再発分に留める

患者さんに対する説明事項

下記の注意点を十分説明し、患者さんが理解したことを確認したうえで処方してください。

服用に関する注意点

- ☐ 初回の服用は、初期症状（患部の違和感、灼熱感、そう痒等）出現後速やか（6時間以内）に自身の判断で服用すること
- ☐ 2回目の服用は、初回服用から12時間後（許容範囲として6～18時間後）に服用すること（CLcr40mL/分未満の患者等、単回投与の場合を除く）
- ☐ 再発の初期症状出現後速やかに服用できるよう、薬剤は常に携帯すること
- ☐ 再発の初期症状出現後速やか（6時間以内）に初回の服用ができなかった場合で、治療を希望する場合は、医療機関を受診すること
- ☐ 本剤処方後に妊娠・授乳中又は妊娠していると判明した場合は、本剤を服用せずに処方医師に相談すること
- ☐ 服用中、服用後に気になる症状があらわれた場合や異常（症状の増悪を含む）を感じた場合は、放置せず、すぐに医師・薬剤師に相談すること

保管方法に関する注意点

- ☐ 直射日光を避けて室温（1～30℃）で保管し、変色した薬剤は服用しないこと
- ☐ 使用期限を過ぎた薬剤は服用しないこと

次回 の再発分に対する処方の場合

- ☐ 湿気を避けるためにアルミ袋に入れて保管および携帯すること

※服用後は、回次の再発に備えて早めに受診するように説明してください。